

「シカ柵（さいねっと）勉強会」を開催

〔愛知所〕3月4日、愛知県設楽町の段戸国有林内において、低コストで効果が確認されている埼玉式ニホンジカ防護柵（さいねっと）の現地勉強会を開催しました。

この勉強会は、低コスト造林の取組の一環として、「さいねっと」の開発業者を講師に愛知森林管理事務所の職員と造林事業に携わる業者約20名が参加しました。

「さいねっと」は、①従来の垂直型ネットから方向を変え、エプロンやスカートのように斜めに長く延ばして設置することにより、◎下を潜り進入しようとしてもほふく前進する距離が長くなり、ネットが身体に接触し進入しづらい。◎シカの足が抜けるサイズの編み目にし、斜めに張ることで、ネットに足が絡みやすく、支柱に近づくにしがって絡む位置がより高くなるため、進行方向に進むことが困難となる。②必要資材をシンプルに軽量化し、資材費・施工費・運搬費を削減。などの特徴を有しています。

勉強会は、講師から「さいねっと」の設置の留意点等の説明を受けた後、実際に伐採跡地へ約50mの設置を行いました。

参加者のほとんどが初めての体験とあって設置に戸惑う場面もありましたが、講師の指導を受け真剣に取り組み、時間がたつにつれスムーズに設置できるようになりました。

参加者からは「支柱がFRP製（繊維強化プラスチック）であることから従来の支柱に比べ軽く扱い易い。」「わりと容易に設置ができ、コスト削減が期待できる」といった声や、「支柱の控え索は必要ないのか」「支柱等の耐久年数は」などの質問もあり有意義な勉強会となりました。

愛知県においてもニホンジカによる被害が増えている状況にあり、主伐後の確実な再造林を行うためには効果的なニホンジカ被害対策の実施が必要不可欠となっています。愛知森林管理事務所においては平成28年度からこの「さいねっと」の導入を図ることとしており、所内に設置した主伐・再造林対策プロジェクトチームにおいてその効果の検証とともに現地視察会の開催等を通じて関係者への普及にも努めていくこととします。



シカ柵（さいねっと）設置体験